

科目名	公民Ⅱ Civics Ⅱ			担当教員	河野 通弘		
学 年	3年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	17120025	単位区分	履修単位
学習目標	現代の様々な社会現象を政治・経済・法制度の側面から理解できるように努め、個人と国家・社会との関わりについて理解を深めて、社会人として必要な基礎知識を習得する。						
進め方	各項目ごとに政治経済の諸システムを理解するために必要な用語、知識の説明をおこなう。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 政治部門その1 (14) (1)政治と権力について (2)近代国家の成立とその展開 (3)ホッブズ、ロック、ルソーの社会契約説 (4)民主政治の基本思想 (5)イギリス議院内閣制とアメリカ大統領制 (6)わが国の三権分立制度 (7)地方自治制度、選挙制度 [前期中間試験] (2)			政治・権力の考え方が説明できる。 近代国家登場の背景、マキャベリやボーダンの政治思想、国家の3要素、ホッブズ・ロック・ルソーの社会契約説の思想と論者の差異、イギリス議院内閣制とアメリカ大統領制の差異が説明できる。わが国の国会・内閣・裁判所、戦前戦後の地方制度、選挙制度が説明できる。 学習・教育目標：A-1			
	2. 政治部門その2 (14) (1)憲法の意義 (2)大日本帝国憲法 (3)日本国憲法の制定過程 (4)日本国憲法の諸原理 (5)国民主権 (6)平和主義 (7)基本的人権とその種類 前期末試験			近代憲法の意味、現代憲法の特徴、明治憲法の特徴、ポツダム宣言から日本国憲法の制定過程までが説明できる。日本国憲法の基本理念、国民主権の原理、象徴天皇制、平和主義の原理、個別的自衛権と集団的自衛権の違い、基本的人権の種類と公共の福祉による制約について説明できる。 学習・教育目標：A-1			
	3. 経済部門その1（マイクロ経済）(14) (1)財と経済(学)の意義 (2)経済主体と経済循環 (3)資本主義経済の発展と経済思想 (4)1930年代のアメリカ経済 (5)失業者対策と経済学 (6)市場機構と完全自由競争の条件 (7)価格の役割と価格決定のメカニズム [後期中間試験] (2)			財の稀少性、財の種類、経済活動の意味、経済体制の特徴とその差異が説明できる。 3つの経済主体と相互の経済循環、企業の種類、資本の意味、資本主義の発展史とその特徴、市場の役割、スミスとケインズの主張とその時代背景、価格機構、需要と供給の法則、資源の最適配分が説明できる。 学習・教育目標：A-1			
	4. 経済部門その2（マイクロ経済学続き）(6) (1)市場の機能 (2)市場機構の限界(市場の失敗) 5. 経済部門その3（マクロ経済学）(8) (1)貨幣と通貨制度 (2)金融政策と日本銀行の役割 (3)財政の諸問題 (4)国民経済と国民所得 後期末試験 試験返却(1)			市場の役割と負の側面、市場の失敗、企業の独占寡占問題、外部性、公共財の存在、情報の非対称性、所得の合理的分配の失敗などが説明できる。 貨幣と通貨の違い、通貨制度の種類、金融政策の意味と種類、国民所得、三面等価の原則、会計と予算、財政の役割、わが国の租税制度、財政問題と財政政策について説明できる。 学習・教育目標：A-1			
評価方法	評価は定期試験の得点で決定する。学習項目ごとの全体評価の重みは、前期と後期それぞれ50%ずつとし、1. 25%、2. 25%、3. 25%、4. と5. で25%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	歴史Ⅰ（1学年） → 公民Ⅰ（2学年）						
教 材	教科書：香川勝俊編『教養の政治学・経済学』（学術図書出版社）						
備 考	単位追認試験は実施する。再試験については、クラス平均点が70点を超える場合しない。						